

TCA

—NEWS—

Vol. 4 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



日本語講座受講生(富山市国際交流センターにて)



会員募集

みんなで友達をふやしましょう

春節を祝って

2月10日は、中国の旧暦正月で、これを「春節」といって、国をあげて賑やかに祝いを行います。この日、当センターでも市内在住の中国の人をはじめ、多くの外国の人たちを招き交歓会を催しました。会員の皆さんのボランティアで楽しい一時を過ごしました。 国際交流委員会



日本舞踊「連獅子」をめでたく舞う (花柳源香会員たち)



手品の袋の中は「なんにもナッシング!!」
でも、出てくる出てくる世界の旗が……
「アッ!中国の旗もあるー」と大よろこびの子どもたち
(王生禎子会員たち)



陶琳さんを中心に「ぎょうざ作り」
あつあつの水ぎょうざはほんとうにおいしかった



三味線で日本文化を披露 (吉浦縞子会員)



これぞ民謡「越中おわら節」 (大森茂会員たち)



“抹茶コーナー”で 一服どうぞ



(石崎良子会員たち)

日本のお正月と中国のお正月(春節)

富山市国際交流センター職員 藤 永 広 美

私は結婚のため中国の北京から富山市に来ました。もう、日本のお正月を3回迎えました。一番印象的だったのは初詣です。みんなきれいな着物を着て自分の願望を熱心に神様にお願いしています。私も主人と一緒に初詣にいきます。それから、お正月のお雑煮は大変おいしいです。そして、日本のお正月は大変静かですね。

中国では、2月10日は旧暦のお正月で“春節”といます。爆竹などを鳴らし大人も子供もみんな大騒ぎして楽しめます。友達や親戚の人達と一緒に酒を飲み、交流して心・人情を交わすのです。



私は、この楽しい、懐かしい“春節”を日本で祝うことが出来ました。富山市国際交流センターで“春節交歓会”が開催されたのです。

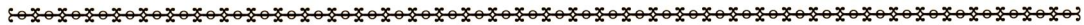


中国の春節剪紙(切り紙)展

2月8日～26日当センター展示場

日本や中国の人のほか、アメリカ、アイルランド、タイの人など大勢のなかまが参加して本当に楽しかったですね。歌や踊り、そして、お酒を飲んだりご馳走を食べたりして、でも一番の感想は人々が世界の新しい友だちに知り合いました。人間の友誼が深く現れている感じでありました。

どんな国も、お互いにそれぞれの文化を大切にして、よい習慣はいつまでも変わらず続けるのが幸せなのだ。と思うお正月でした。



理 事 会 だ よ り

第3回 理事会開催(1月26日 当センター会議室)

平成6年1月26日、第3回理事会が当センター会議室において行われました。

当日は、久保田会長をはじめ各理事、各委員長が出席し、平成5年度の活動経過の報告や平成6年度の活動計画、予算案について協議されました。

なお、平成6年度の当協会の総会は、5月12日(木)午後3時から、CICビル(いきいき館)で開催いたします。



平成5年度の主な活動経過

(12月末会員数 個人381人 団体61団体)

- 5月13日 平成5年度総会(CICビル)
- 6月8日 市内在住外国人のための日本語講座開催
(平成6年1月25日まで24回)
- 6月11日 中国語講座開催(平成6年2月25日まで28回)
- 7月1日 機関紙「TCA-NEWS」創刊号発行
(10月1日、1月1日、4月1日発行)
- 7月6日 ダーラム市高校生訪問団受入事業
～19日
- 7月31日 設立記念事業「国際交流担い手シンポ
～8月1日 ジウムin富山」開催
- 8月1日 モジ市へ社会福祉用衣類寄贈事業
(10月23日まで)
- 8月7日 市民国際協力講座開催(9月18日まで7回)
- 10月16日 国内研修旅行実施
～17日 (大垣国際交流協会へ19人参加)
- 1月26日 第3回理事会開催
- 2月10日 '94春節交歓会

友情は世界のかけ橋

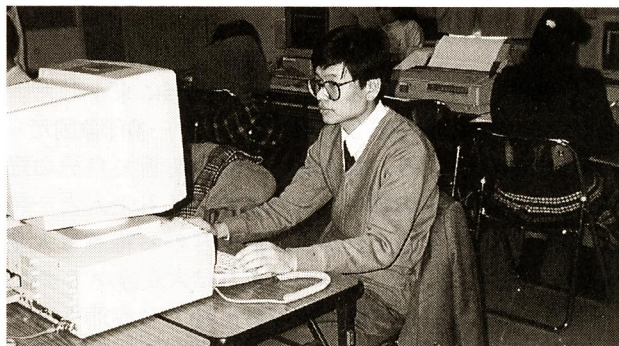
秦皇島市

私と富山

秦皇島市 張 立紀

平成5年9月、私は、富山市の友好都市研修生として秦皇島市から参りました。来る前に、「富山市は夏に雨が降り、冬は雪が降り魅力がない都市だ」と聞きました。しかし、富山市に滞在して、私は、もう富山市は好きになり、「富山市は暮らしやすい都市だ」と中国の新聞にも載せました。

私は、もう富山市と古い友人になりました。大勢の富山市の人と知人になりました。休日に町を歩いていると「張さん、こんにちは」と、話し掛けてくれます。自分の故郷である秦皇島にいるみたいです。富山ー秦皇島が一つの都市になった感じです。私は、もう、両市の懸け橋になったことじゃないですか。私の人生の一つの構成部分となった富山市での滞在、そして友情は忘れることはできません。



みなさんのやさしい顔、美しい風景、市内電車、勉強好きな精神、おいしい食べ物、面白い富山弁……私の心に銘記しました。そろそろ親愛なる富山市を離れようとしています。私は、思わず「星かげのワルツ」を思い出しました。“別れることはつらいけど……”

別れることがなければどうして再会があるのか。友情は地球をいよいよもって小さくさせます。

さようなら、富山、再会、富山。

ダラム市

ダラムの自然と人

科学文化センター副館長 倉谷 寛

昨年の10月11日から2週間、富山市の教員、職員一行8名でダラム市を訪問した。

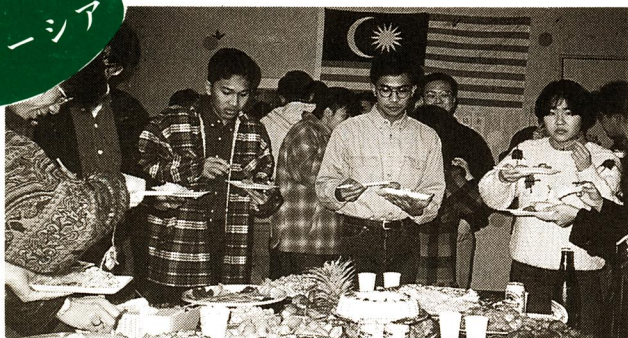
毎日の刻一刻は、カルチャーショックの連続であったが、生涯に忘れられない深い思い出を持ち帰ることができた。ダラム市では、ホームステイをして多くの人たちと交流が深められた。

一つ一つが肌で知る貴重な体験、そして、新しい発見であった。

あっという間の短い期間ではあったが、伸び伸びとした大自然の樹木が象徴するように、寛い心、穏和で、生き生きと活発で、限りなく明るい「ダラムの人たち」は、自然と共に生きている、人間像を見せてくれた。

このような人たちと、ほぼ同じ緯度に育った「富山の人たち」が交流を深めることによって、お互いに学び合い、協力し合ってこの地球上の人類のよりよい関係を築き上げること、そして、新たな価値観を築き上げて行く事は、本当に素晴らしいことだと思う。

マレーシア



ボランティアグループHand in HandとW.W.T

留学生とのつどい

雪に、寒さにふるえあがるマレーシアの若者たちと留学生会館で交流交歓会をしました。彼らはお国自慢の料理で迎えてくれました。そして、私たちの持ち寄った日本料理も喜んでくれ、母と子のような会話で、窓の外の寒さも感じないほどにあたたかく、あたたかく弾み、国際交流を実感した一時でした。

ひなまつり



(2月27日 名鉄トヤマホテル)

ひなまつりを楽しむ

第7回国際交流ひなまつりパーティーが、婦翔会の主催で行われました。当日は、100人以上の県内在住の外国の人々が参加し、婦翔会のメンバーとアトラクションや食事を楽しみました。日本の伝統文化に親しみながら、国際交流を深めました。

富山市民国際交流協会 委員会活動報告

第3回

国際交流委員会

今回は、外国の人たちとの交流事業・行事の企画などでご活躍の、国際交流委員会をご紹介します。

いろいろな国の多くの人たちが集える交流交歓会の企画を期待したいですね。

国際交流委員会委員長 館盛貞信

富山市民国際交流協会が設立されて1年になります。国際交流委員会では、去年はとくに目につく活動を行いませんでした。今年に入って、中国の春節を軸に国際交流を行う計画を立て、各委員会の協力も得て楽しく実行することができました。(当 NEWS 2～3 ページに紹介)

市内在住の中国の人をはじめ、多くの外国の人たちとアトラクションを楽しみながら、ギョウザで舌鼓を打ち和やかな雰囲気の中交歓会でした。

会員の皆様の活躍によって行われた、イベント活動を通しての国際交流の大切さを実感することができました。

今年は、この経験を生かしさらに新しい企画を考えています。

新年度事業として、富山在住の外国の人々に私たちの街や歴史を紹介する「バス・ハイク」を考えています。

さらに、継続事業として、日本文化理解講座や各種語学講座を行うこととしています。

国際交流は、皆さんの手で行う訳ですのでご意見やアドバイスなど賜ればと思います。

お知らせひろば

会員の皆様へ〈会費納入〉のお願い

平成6年度の会費の納入をお願いします。

会 費 (1口) 3,000円

納入方法 総会会場 5月12日(木) CIC5F
当センター 随時、受付け

会 員 募 集

当協会を紹介し、多くの方々に入会していただけるように、と“協会案内パンフレット”を作りました。

新会員募集に、ご協力をよろしくお願いいたします。

DAILY LIVING GUIDE

(FOR FOREIGN RESIDENTS IN TOYAMA CITY)

富山市では、外国人の皆様に少しでも快適な生活を送っていただけるよう、日常生活に関わりのある情報を幅広く載せた「ハンドブック」を作成しました(カラー・イエロー、サイズ・女性のバックにも入る約18×13×0.5cm)。

— ご希望の方は、国際交流センターまで —

書き損じたハガキ・年賀状で国際協力を

市民国際協力講座(協会実施、平成5年8～9月)で学びました“世界寺小屋運動”に協力しましょう。

“世界寺小屋運動” (財)日本ユネスコ協会連盟
世界中の読み書きのできない人々(非識字者)のための教育施設作りを支援している。

書き損じハガキ・年賀状等がありましたら、当センターまでお送りください。

国際理解セミナー

テーマ 文化や人との出会いから、日本と世界について新しい発見をしましょう。

日 時 毎月 第3水曜日 PM6:30～8:00

会 場 (財)富山YMCA 駅前センター

講 師 在日外国人

料 金 500円 程度

連絡先 (財)富山YMCA 駅前センター
tel 0764-31-5588

あなたが交流の主役です

当協会の専門委員会、国際交流ボランティア、ホームステイなどの活動に多くの皆さんの登録をお願いします。

第11回富山市青年の翼 報告展 第2回富山市婦人の翼

(1月15日～1月21日まで 市役所多目的ホール)

10月15日から2週間、シンガポール、インドネシア、オーストラリアの三カ国を訪問して、友好親善を深めながら、学んだこと、体験したことを報告、発表しました。



異文化の新年を迎えて

主人はギリシャ、次男はロス。病院から帰宅中の母と京都から長男、東京から三男が帰ってきたお正月。

商船高専のマレーシア留学生ハンさんが家で年越しソバとおどろいで一緒に祝うことになった。息子たちが鍋料理を作り、カラオケ・パチンコにも連れ出した。

マレーシアの国花ランガラヤを彫った小さなアートを思い出に残して帰った。

ボランティア委員会 小池和子 さん



前列中央がハンさんです。

ホームビジットで日本のお正月を

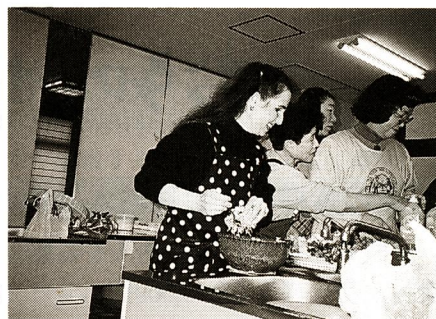


1月7日、太田の服部さん宅に、富山商船の留学生を迎えました。ケニア・中国・マレーシアから情報工学や電子制御工学を学びに来た3人(タイルさん、楊さん、オンさん)は、とても日本語がじょうずで、富山での生活やお国のこなどに話がはずみました。

ボランティア委員会 大橋裕子 さん

味文化で国際交流(1月19日 愛宕公民館)

W・W・Tの仲間は、ブラジルの婦人たちからお国料理の講習を受けながら、味文化で交流し、お互いの友好を深めました。



ポットラックパーティー(もちよりパーティ)



(2月23日(財)富山YMCA駅前センター)

平成5年度の国際理解セミナーの打ち上げパーティー。日本や世界について新しい発見があったかな……。

編集後記

春風胎動 桜花はころぶの好季節……。美しい四季をたのしめる日本。行く季を惜しみ、来る季にこそ馳せる。雪国の人の春を待つ心は、何時の季節にもまして待ち遠しいものである。

春は、はじまりの季節のような気がする。

「TCA-NEWS」Vol.4の表紙を飾った友達たちは、当協会では日本語を学んだ仲間たちである。彼等は、休憩時間に「ジャン・ケン・ボン」と楽しそう。ゆずりあったのか「あいこでしょ」「あいこでしょ」がつづき、そして、笑い声が響いた。3月には、国に帰るもの、また、新しい生活に入るもの、と、皆それぞれに出発していった。

お別れの日、お互いに住所や名前を教え合っていた。世界中に、友達ができた。

いつか読んだ文章を思い出した。

「世界中の国に、一人づつ友達がいたら戦争は起こらない……」と……

私は、彼等にこの「ジャン・ケン・ボン」の写真と、富山の絵葉書をプレゼントしました。

「友達を、富山を、忘れないでほしい」と祈りを込めて……

では、友達の輪が大きく広がること、そして、「TCA」の仲間が多く増えることを願いながら、皆さまからのたくさんのお便りお待ちしております。 広報委員長 岡田昌代